

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1-1

令和 7年 1月23日

協議会名: 姫路市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
姫路市	【坊勢地域】 運行系統名: 坊勢循環 坊勢島内の「サービスセンター前～西ノ浦～サービスセンター前」を巡回運行(右回り循環は、平日13便、土曜7便運行、左回り循環は、平日4便運行)。ミニバンサイズ車両2台で運行。	●運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ●来訪者への情報発信等のため、ジョルダン、駅すばあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。	A 計画どおり事業が適切に実施できた。	A 目標30人／日に対し、実績36.4人／日であった。	●地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ●ダイヤ改正に伴う課題や定期船接続等の影響を検証し、必要に応じてダイヤの再調整等を図る。 ●令和6年12月より島内小学生と市内高校生のデザインによるラッピングした車両の運行を開始するなどのPR活動を通し、地元住民と観光客の利用促進を図る。
姫路市	【家島地域】 運行系統名: 真浦線1、真浦線2、宮線 家島島内の真浦地区を中心に真浦線(真浦線1はB&G海洋センター下を経由しない便、真浦線2はB&G海洋センター下を経由する便)、宮地区を中心に宮線を運行。 真浦線及び宮線それぞれをミニバンサイズ車両各1台で運行。	●運転員連絡会議の開催及び運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ●令和6年9月1日の老人福祉センターの閉所、10月1日からの家島交流センターの開所に合わせ、ルート変更やダイヤ改正に取り組んだ。 ●来訪者への情報発信のため、ジョルダン、駅すばあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。	A 計画どおり事業が適切に実施できた。	B 目標35人／日に対し、実績33.9人／日であった。 (原因) 島内の急激な人口減少や熱中症アラートに伴う外出自粛が主な原因	●地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ●運転者の高齢化が進行していることから、引き続き新たな運転者の確保など持続可能な運行に向けて運転者の確保に取り組む。 ●家島交流センターの開所によりコミュニティバスの利用者が増加傾向にあり、更に家島交流センターと連携を図りつつ利用促進に努める。 ●令和6年12月より島内小学生と市内高校生のデザインによるラッピングした車両の運行を開始するなどのPR活動を通し、地元住民と観光客の利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 1月23日

協議会名：	姫路市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	姫路市は兵庫県の南西部、瀬戸内海に面した播磨平野のほぼ中央に位置し、北部の森林丘陵地、中部の市街地、南部の群島を有する面積534km²、人口約52万人の県内第2位の都市である。 北部や群島部での人口減少・少子高齢化の進展が著しく、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。 そこで本市では、「姫路市総合交通計画」を令和3年7月策定し、「にぎわいあふれる都心と魅力ある地域の交流連携を支える交通体系の構築」を基本理念に掲げ、①地域ニーズに対応した、安心・快適に移動できる公共交通の整備、②多様な交通を選択でき、人とまちをつなぐ交通環境の充実、③持続可能な公共交通を地域や多分野で支える仕組みの形成の3点を基本方針として施策推進を図っている。 具体的な施策の一つとして、公共交通空白・不便地域に対し、地域の交通需要に応じた地域公共交通の導入に向けた取り組みを進めることとしている。 【家島地域の特徴と基本方針】 離島のためバス・タクシー等の交通事業者がいなく、全くの公共交通空白地域である。また島内の移動は徒歩や二輪が大半を占めている。 本地域においては高齢化や急傾斜地という地理的要因のため、港から各集落までの公共交通導入を求める声が高まり、定期船発着場である旅客船ターミナルを起点とした地域内フィーダー系統としてコミュニティバス(交通空白地有償運送(旧・市町村運営有償運送))を導入し、運行中である。 地域と行政の協働で運行計画の立案・コミュニティバス運行を行っており、今後も地域と行政が連携し「地域の足」として、また、島内を訪れる人の移動手段として継続的な運行の必要がある。

姫路市地域公共交通会議（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

「姫路市総合交通計画（令和3年7月策定）」において、「にぎわいあふれる都心と魅力ある地域の交流連携を支える交通体系の構築」を基本理念に掲げ、①地域ニーズに対応した、安心・快適に移動できる公共交通の整備、②多様な交通を選択でき、人とまちをつなぐ交通環境の充実、③持続可能な公共交通を地域や多分野で支える仕組みの形成の3点を基本方針として施策推進を図っている。

具体的な施策の一つとして、公共交通空白・不便地域に対し、地域の交通需要に応じた地域公共交通の導入に向けた取り組みを進めることとしている。

（家島地域の特性と基本方針）

○地域特性

- ・家島本島及び坊勢島は、バス及びタクシー事業者が全く無い公共交通空白地域
- ・島内の移動手段は、徒歩や二輪が大半
- ・市内他地域と比べ、人口の減少や高齢化が著しい

○基本方針

- ・高齢化の進行や港から各集落までの交通手段導入を求める声が高まり、地域住民の移動交通手段確保と地域の活性化に資するコミュニティバス（交通空白地有償運送（旧・市町村運営有償運送））を導入し、継続運行中である。

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添で添付して下さい。

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

○事業の目標値

（坊勢コミュニティバス）1日あたりの乗車人員：30人

（家島コミュニティバス）1日あたりの乗車人員：35人

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

・コミュニティバス概要

	坊勢コミュニティバス	家島コミュニティバス
事業手法	交通空白地有償運送	交通空白地有償運送
運行の担い手	坊勢区会（地元自治会） ※運転員は地元住民	宮区会（地元自治会） ※運転員は地元住民
ルート	島内巡回ルート	宮地区・真浦地区を中心とした2ルート ※真浦ルートのみ、午前の第3・4便及び 午後の第9・10便、第13～16便を 一部延伸
運行日・便数	月～金曜日：右回り13便 左回り4便 土曜日：7便 (右回りのみ)	月～金曜日：16便 (6～9月の土曜日：6便)

運行開始後も、利用者・地元自治会の意見を踏まえ、ニーズの変化や定期船ダイヤ改正に対応すべく随時運行計画やルートを見直している。

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
坊勢コミュニティバス	姫路市	H26. 10. 1～	フ	運行系統名：坊勢循環 坊勢島内の「サビセンター前～西ノ浦～サビセンター前」を巡回運行
家島コミュニティバス	姫路市	H24. 4. 1～	フ	運行系統名：真浦線1、真浦線2、宮線 家島島内の真浦地区を中心に真浦線 (B&G海洋センター下を経由しない便は 真浦線1、同センターを経由する便は真 浦線2)、宮地区を中心に宮線を運行

【種別】幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業

その他補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
坊勢コミュニティバス	●自治会を通じた地元住民への利用促進 ●自治会を通じた運転者の確保	事業目標の達成
家島コミュニティバス	●自治会を通じた地元住民への利用促進 ●自治会を通じた運転者の確保 ●島内の公共施設の移転等に伴うルート変更やダイヤ改正	事業目標の達成

4. 具体的取組に対する評価

【坊勢コミュニティバス】

目標 30 人/日に対し、実績 36.4 人/日であり、目標を達成できた。

【家島コミュニティバス】

目標 35 人/日に対し、実績 33.9 人/日であり、目標をわずかに達成できなかった。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
・人口の減少が本土地域と比べ著しく、特にその傾向が顕著な家島においては目標を達成できなかった。引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用促進活動を継続していく必要がある。 ・家島地域においては運転者の高齢化が進行している。	・利用者への聞き取りや運転員連絡会議等を通じて、利用者ニーズの把握に努め、利用促進に繋がるルートや運行ダイヤを検討していく。 ・新たな利用者の獲得に向け、MM 等の利用促進活動にも取り組んでいく。 ・老人福祉センターの閉所及び家島交流センターの開所に合わせ、ルート変更やダイヤ改正を令和 6 年秋に行っている。 ・令和 6 年 1 2 月には、島内小学生及び市内高校生のデザインによるラッピングした車両の運行を開始し、利用促進を図っている。 ・引き続き新たな運転者の確保など持続可能な運行に向けて運転者の確保に取り組んでいく。

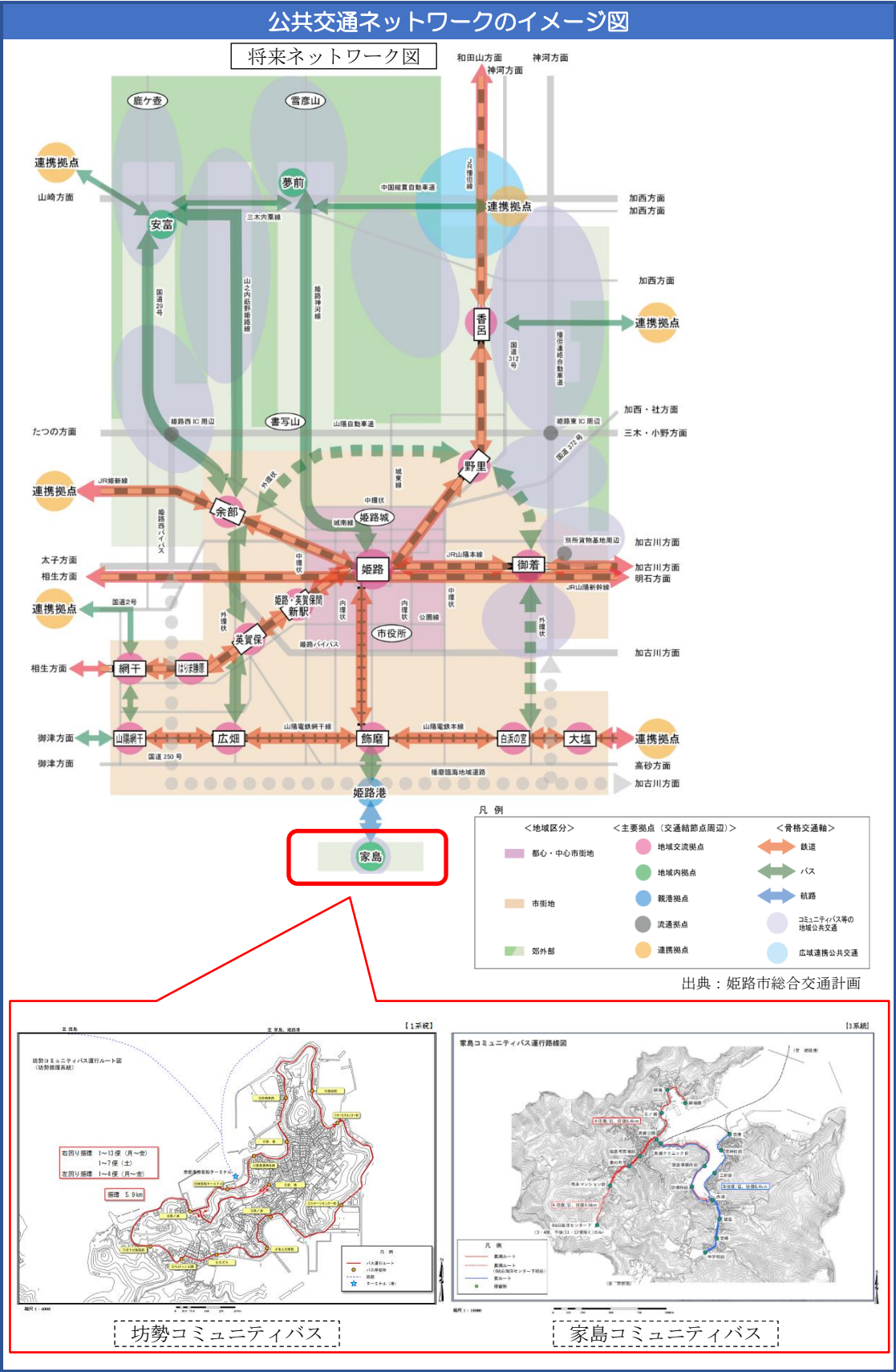
姫路市地域公共交通会議（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
目標・効果について、達成できなかったところはあるものの、事業実施の適切性については評価できる。 今後も、利用状況の把握・分析により、ニーズに対応した運行内容の見直しに取り組むことで更なる利用者の増加につなげ、また、運転者の確保にも取り組むことで持続可能な公共交通が構築されることを期待する。	（坊勢地域） ● 運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ● 来訪者への情報発信のため、ジョルダン、駅すぱあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。	● 地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ● ダイヤ改正に伴う課題や定期船接続等の影響を検証し、必要に応じてダイヤの再調整等を図る。 ● 令和 6 年 1 2 月より島内小学生と市内高校生のデザインによるラッピングした車両の運行を開始するなどの PR 活動を通し、地元住民と観光客の利用促進を図る。
	（家島地域） ● 運転員連絡会議の開催及び運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ● 令和 6 年 9 月 1 日の老人福祉センターの開所、10 月 1 日からの家島交流センターの開所に合わせ、ルート変更及びダイヤ改正に取り組んだ。 ● 来訪者への情報発信のため、ジョルダン、駅すぱあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。	● 地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ● 運転者の高齢化が進行していることから、引き続き新たな運転者の確保など持続可能な運行に向けて運転者の確保に取り組む。 ● 家島交流センターの開所によりコミュニティバスの利用者が増加傾向にあり、更に家島交流センターと連携を図りつつ利用促進に努める。 ● 令和 6 年 1 2 月より島内小学生と市内高校生のデザインによるラッピングした車両の運行を開始するなどの PR 活動を通し、地元住民と観光客の利用促進を図る。

2. アピールポイント、特に工夫した点など

- 地域との協働により、運行計画を立案し、運行についても行政と自治会で連携して実施している。
- 自治会が運行を担い、地域住民が運転しているため、利用者との距離が近く、地域に密着した運行を行っている。また、自治会から地域住民へ直接運行情報を提供するなど、地域による自主的な取り組みも行われている。
- 定期船との接続時間を考慮し、円滑な乗継が出来るよう調整している。
- 島内の公共施設の移転等に伴い、ルート変更やダイヤ改正に対応した。



至 西島

至 家島、姫路港

坊勢コミュニティバス運行ルート図
(坊勢循環系統)

右回り循環 1～13 便 (月～金)
1～7 便 (土)
左回り循環 1～4 便 (月～金)

循環 5.9 km

奈座港旅客船ターミナル

⑩旅客船ターミナル

⑬坊崎南西

⑭漁協前

①サービスセンター前

⑫奈座

⑪恵美酒神社南

⑨炭焼

②スポーツセンター前

③西ノ浦

⑧鷹ノ浦

⑦ほうぜ医院前

⑤カズラ

⑥ちびっこ公園

④老人の家前

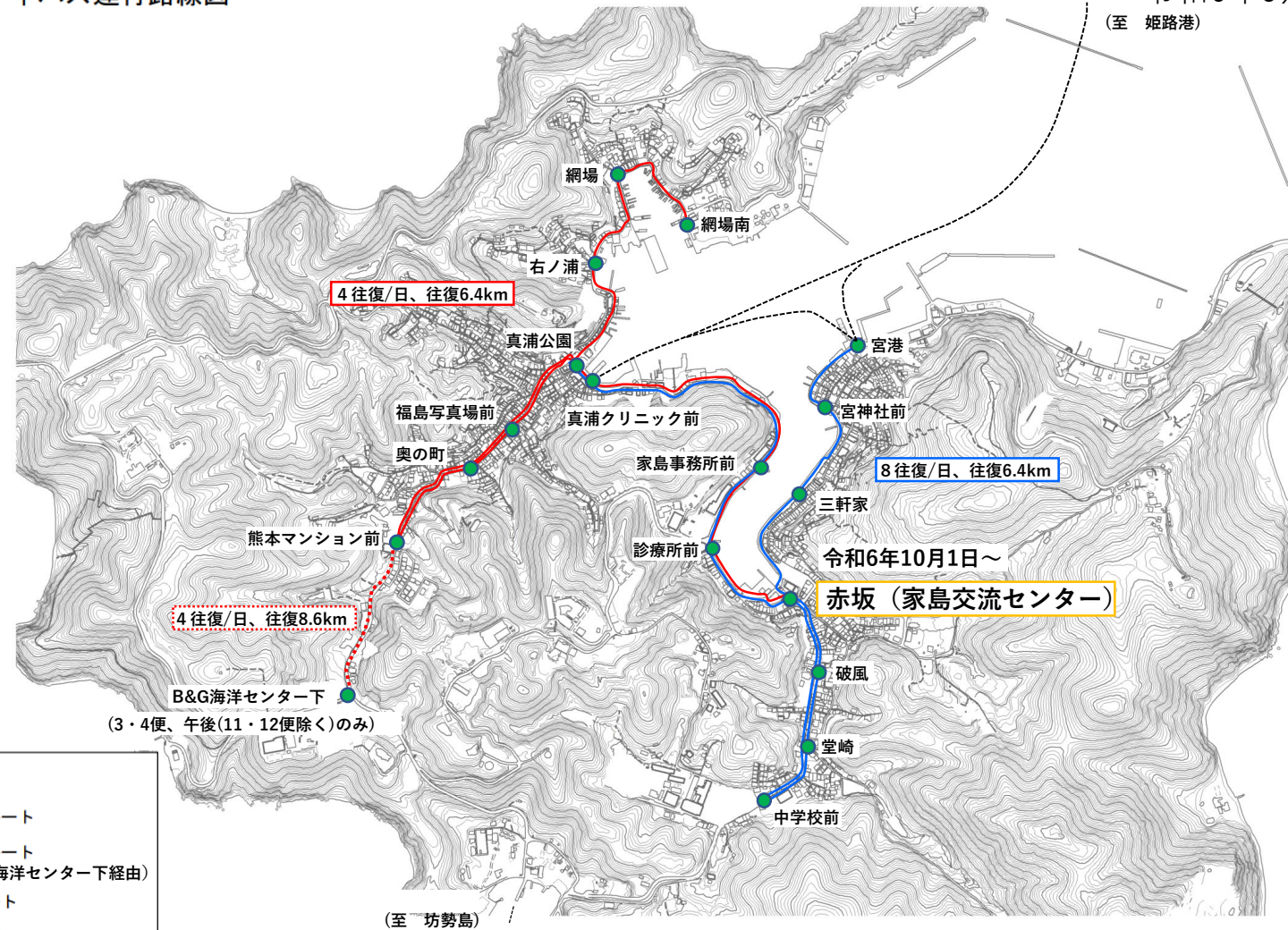
凡 例

- バス運行ルート
- バス停留所
- 航路
- ★ ターミナル (港)

家島コミュニティバス運行路線図

令和6年9月1日～

(至 姫路港)



凡 例

- 真浦ルート
- ⋯ 真浦ルート
(B&G海洋センター下経由)
- 宮ルート
- 停留所

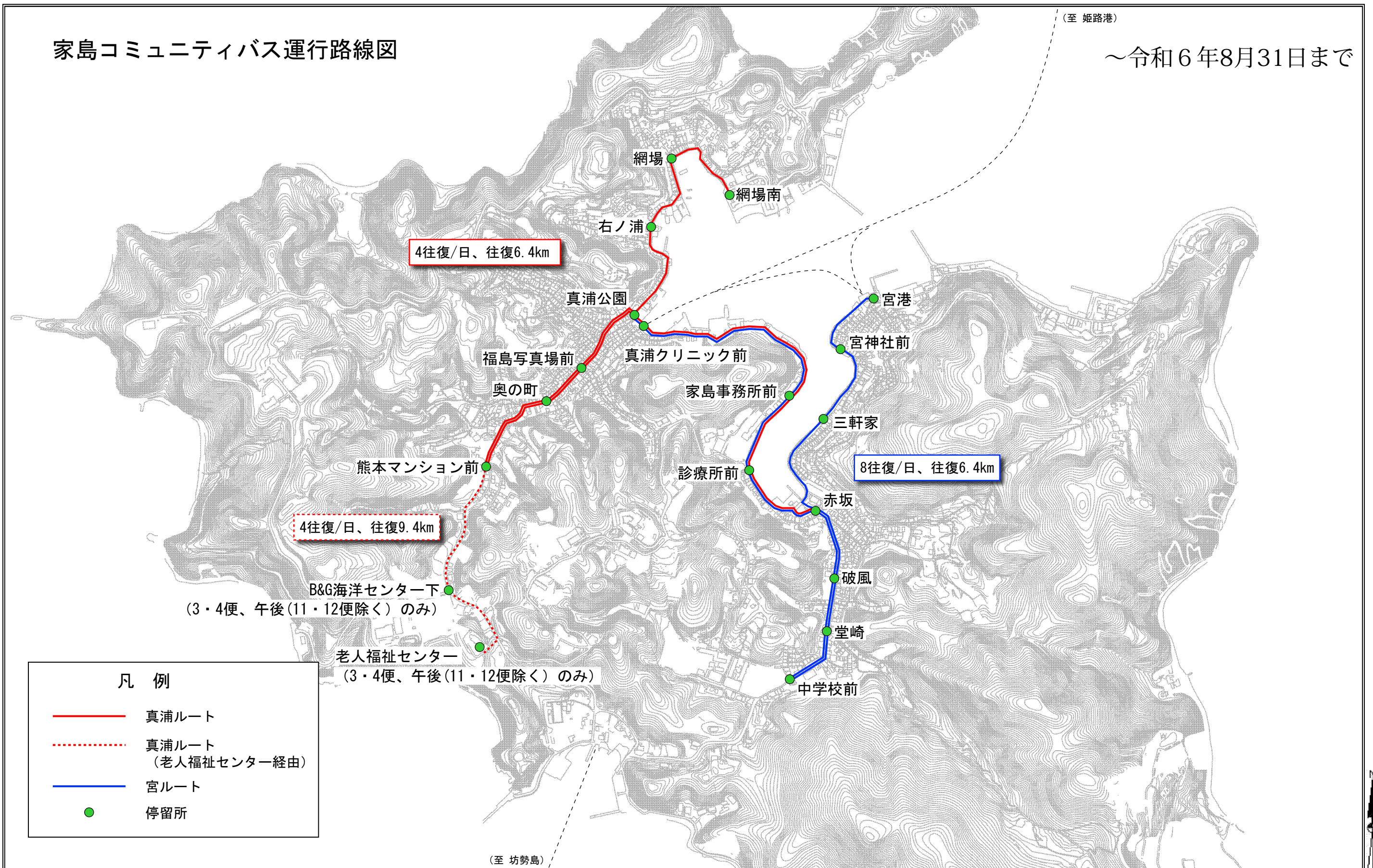
(至 坊勢島)

縮尺 1 : 10000



家島コミュニティバス運行路線図

～令和6年8月31日まで



令和3年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	21	18	24	22.5	21.5	21.5	21	19	20	18	18	22	246.5
乗車人員（人／月）	932	789	924	910	919	806	1,032	812	879	664	696	793	10,156
宮ルート	419	359	478	412	447	407	498	376	428	309	285	339	4,757
真浦ルート	513	430	446	498	472	399	534	436	451	355	411	454	5,399
日平均乗車人員（人／日）	44.4	43.8	38.5	40.4	42.7	37.5	49.1	42.7	44.0	36.9	38.7	36.0	41.2

※ 6～9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。

令和4年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	20	19	24	22	22	20	20	19	20	17	19	22	244
乗車人員（人／月）	927	851	989	922	919	896	858	808	795	578	695	783	10,021
宮ルート	400	351	402	394	382	353	353	336	331	220	282	313	4,117
真浦ルート	527	500	587	528	537	543	505	472	464	358	413	470	5,904
日平均乗車人員（人／日）	46.4	44.8	41.2	41.9	41.8	44.8	42.9	42.5	39.8	34.0	36.6	35.6	41.1

※ 6～9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。

令和5年度実績

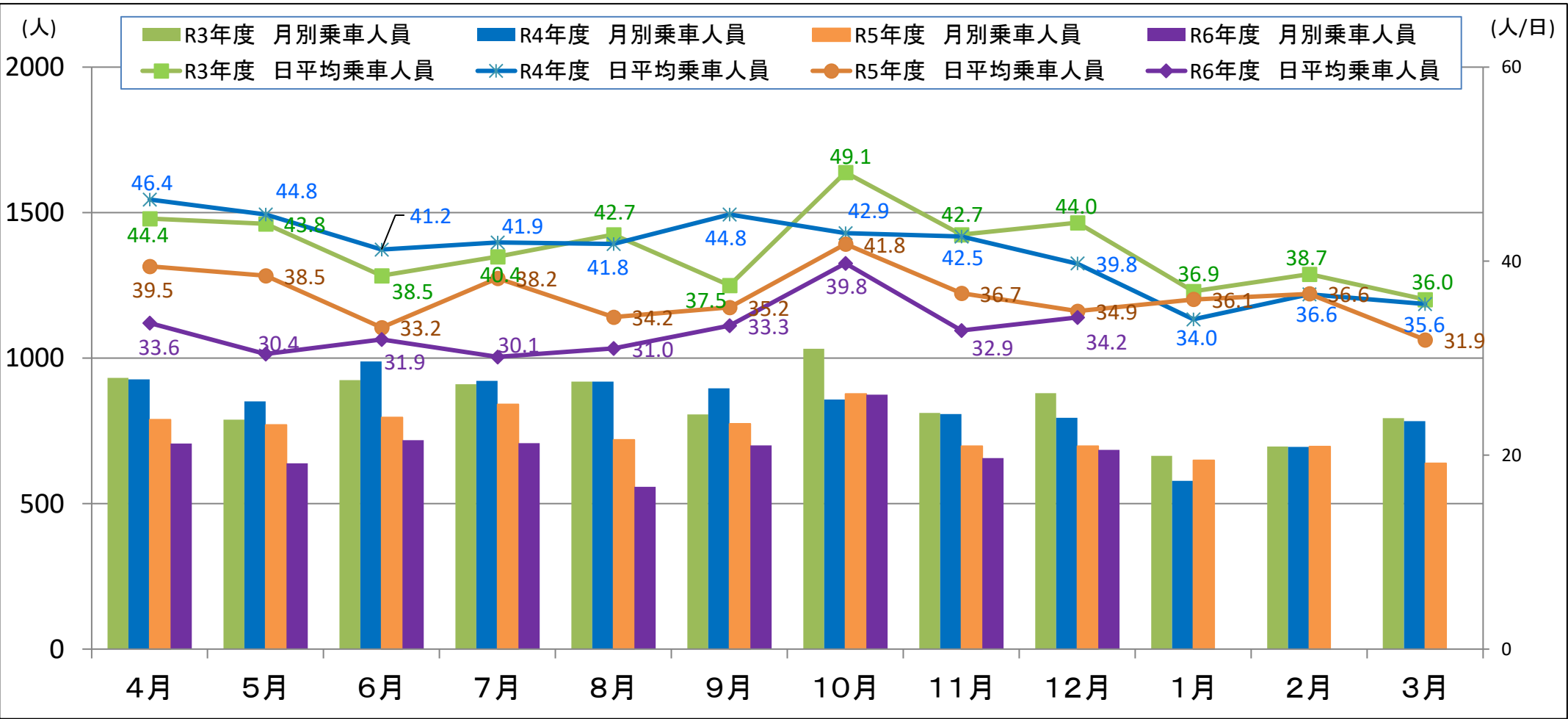
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	20	20	24	22	21	22	21	19	20	18	19	20	246
乗車人員（人／月）	789	770	796	841	719	775	877	697	697	649	696	638	8,944
宮ルート	344	301	344	375	293	343	384	243	265	256	263	251	3,662
真浦ルート	445	469	452	466	426	432	493	454	432	393	433	387	5,282
日平均乗車人員（人／日）	39.5	38.5	33.2	38.2	34.2	35.2	41.8	36.7	34.9	36.1	36.6	31.9	36.4

※ 6～9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。

令和6年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	21	21	22.5	23.5	18	21	22	20	20				189
乗車人員（人／月）	706	639	718	708	558	700	875	657	684				6,245
宮ルート	299	268	285	327	235	293	386	303	307				2,703
真浦ルート	407	371	433	381	323	407	489	354	377				3,542
日平均乗車人員（人／日）	33.6	30.4	31.9	30.1	31.0	33.3	39.8	32.9	34.2				33.0

※ 6～9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。



坊勢地域コミュニティバス 利用実績

令和3年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	23	20.5	24	22.5	21.5	21.5	23.5	21	22	20	20	24	263.5
乗車人員（人／月）	1,046	899	953	999	1,020	985	1,208	1,085	918	697	654	886	11,350
右回り	842	718	738	807	766	767	959	879	725	564	515	701	8,981
左回り	204	181	215	192	254	218	249	206	193	133	139	185	2,369
日平均乗車人員（人／日）	45.5	43.9	39.7	44.4	47.4	45.8	51.4	51.7	41.7	34.9	32.7	36.9	43.1

令和4年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	22.5	21	24	22.5	22	20	22.5	21	22	19	20.5	24	261
乗車人員（人／月）	954	887	990	1,029	924	904	1,065	961	906	722	833	1,007	11,182
右回り	790	716	766	812	708	719	791	740	663	533	634	755	8,627
左回り	164	171	224	217	216	185	274	221	243	189	199	252	2,555
日平均乗車人員（人／日）	42.4	42.2	41.3	45.7	42.0	45.2	47.3	45.8	41.2	38.0	40.6	42.0	42.8

令和5年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	22	22	24	22.5	21	22	23	21.5	22	20	21	22.5	263.5
乗車人員（人／月）	994	934	998	997	951	933	942	820	792	679	696	799	10,535
右回り	741	703	754	752	721	702	680	617	635	539	563	650	8,057
左回り	253	231	244	245	230	231	262	203	157	140	133	149	2,478
日平均乗車人員（人／日）	45.2	42.5	41.6	44.3	45.3	42.4	41.0	38.1	36.0	34.0	33.1	35.5	40.0

令和6年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日（日数）	23	22.5	22.5	24	19	21	24	22	22				200
乗車人員（人／月）	888	781	813	839	720	756	904	862	825				7,388
右回り	690	614	637	640	548	592	738	683	664				5,806
左回り	198	167	176	199	172	164	166	179	161				1,582
日平均乗車人員（人／日）	38.6	34.7	36.1	35.0	37.9	36.0	37.7	39.2	37.5				36.9

